

スタイルは無限 舞台は多種多様な世界

映画に携わる仕事をしたい。 一転して経済学部へ

古典芸能が好きだった祖母と映画好きの母の影響から表象文化を学びたいと考え、東大に進学。ところが実際に蓮實重彦先生の全学ゼミで映画について学び始めると、学問として追究していきたいのかが自信が持てなくなりました。では何がしたいのか。我が家には小さい頃から経済誌や会社四季報があり、金融マーケットに関する興味も人一倍あったので、結果、経済学部を選びました。

憲 経験をリンクさせて

若い方からよく「秋田さんのようにステップアップするにはどうしたらいいですか?」と聞かれます。プロフィールから見える私は、上昇志向があり、戦略的にステップアップをして今があるように思わ

たノウハウを、必要としている誰かに伝えたい。その思いから個人のウェブサイトを立ち上げました。ユーザーだった私がその20年後、使用ツールのITソフト企業で働くとは知る由もありませんでした。が.....。

2年後にMBAを取得し帰国。仕事が波に乗っている頃、

で自己分析をしたところ、34の資質のうち、第一は「ビロ潭

キ農 益潭 幢袂展

どんな立場になっても、学び続ける姿勢を忘れてはいけなくと思っています。常にアンテナを広く張って、自分が少しでも興味があることには飛び込むこと、好奇心に蓋をしないことが大切です。すぐに仕事に直結しないとしても、時を経て、点と点が結びつき、思いがけないチャン

「ビロ潭

みずほフィナンシャルグループ執行役員人事グループ副グループ長。1994年経済学部卒業。米ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院でMBAを取得。HSBC、マスターカード等を経て、17年ITソフトのアドビシステムズ入社。18年副社長就任。22年5月より現職。18歳を筆頭に、9歳、6歳と3人のお子さんがいる。